



9月定例会で審議された案件

報告番号	件名	結果
5	令和元年度決算に係る健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	報告済
6	公益財団法人平戸市振興公社の経営状況を説明する書類の提出について	〃
7	令和元年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等の提出について	〃
承認番号	件名	結果
3	専決処分の承認を求めることについて	承認
議案番号	件名	結果
62	令和元年度平戸市一般会計決算認定について	継続審査
63	令和元年度平戸市国民健康保険特別会計決算認定について	〃
64	令和元年度平戸市後期高齢者医療特別会計決算認定について	〃
65	令和元年度平戸市介護保険特別会計決算認定について	〃
66	令和元年度平戸市農業集落排水事業特別会計決算認定について	〃
67	令和元年度平戸市宅地開発事業特別会計決算認定について	〃
68	令和元年度平戸市あづち大島いさりびの里事業特別会計決算認定について	〃
69	令和元年度平戸市駐車場事業特別会計決算認定について	〃
70	令和元年度平戸市工業団地事業特別会計決算認定について	〃
71	令和元年度平戸市水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について	〃
72	令和元年度平戸市病院事業会計決算認定について	〃
73	令和元年度平戸市交通船事業会計決算認定について	〃
74	平戸市営バス事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の一部改正について	原案可決
75	平戸市手数料条例の一部改正について	〃
76	平戸市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	〃
77	平戸市奨学資金貸付基金条例の一部改正について	〃
78	平戸市地域交流センター条例の一部改正について	〃
79	令和2年度平戸市一般会計補正予算(第7号)	修正可決
80	令和2年度平戸市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決
81	令和2年度平戸市介護保険特別会計補正予算(第2号)	〃
82	令和2年度平戸市水道事業会計補正予算(第1号)	〃
83	令和2年度平戸市病院事業会計補正予算(第2号)	〃
84	令和2年度平戸市交通船事業会計補正予算(第1号)	〃
85	あらたに生じた土地の確認及び字の区域の変更について	〃
86	物品購入契約の締結について	〃
87	指定管理者の指定について	〃
88	令和2年度平戸市一般会計補正予算(第8号)	〃
89	平戸市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	同意
90	平戸市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	〃
議案議番号	件名	結果
1	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書	原案可決

賛否が分かれたが、可決された案件

議案名	採決結果	賛成・反対		議員氏名(議席番号順)																		
		賛成	反対	山崎一洋	池田稔巳	山本芳久	田島輝美	山内政夫	松尾実	井元宏三	小山田輔雄	松本正治	神田全記	大久保堅太	辻賢治	吉住威三美	竹山俊郎	近藤芳人	山田能新	綾香良一	山内清二	
議案第79号 令和2年度平戸市一般会計補正予算(第7号)																						
議案第79号 修正案	可決	15:2					●							●								
議案第79号 修正部分を除く原案	可決	16:1												●								

○は賛成 ●は反対 「欠」は欠席 議長は、可否同数の時以外、採決に加わらない。

●今後の生月病院のあり方について

井元 宏三(大地の会)



◎ 生月病院に関して、救急告示病院としての機能を存続させる。経営診断、経営分析を行い、建物の改築と合わせて病院機能の転換や病床数の削減などを判断していくと回答されていたが、進展が見られない。今後の方針について問う。また、住民への説明会はいくつ行われるのか。

病院局長 専門医不在のため、整形外科、外科、皮膚科等の患者が流失している状況にある。入院病床に関しては、収支改善策として、現状の一般病床60床の一部を削減し、回復期病床である地域包括ケア病床へ転換を行い、経営改善が見込まれるものと報告されているので、今後、協議を進めていきたい。住民説明会については10月に、生月町総合開発センターを予定しており、特に、住民の皆様へは地域の積極的な病院との関りを活性化していただけるよう、生月病院の積極的な活用をお願いし、生月病院としても患者満足度を向上させ、住民と一体となって患者増に繋げる取り組みを行っていく必要があると考えている。その一方で、病棟へのWi-Fi設置も検討している。

◎ 平戸市発行のプレミアム付き商品券について市民の声として、「次予約申し込み時に、使用できる店舗が分からないために購入しなかった」という声や、「申込の方法もよく分からなかった」と言っ声も多かった。市民への周知を熟考すべきではなかったのか。

◎ 去る6月25日に、平戸瀬戸市場協同組合の総会が開催された。開会直後から紛糾し、全議案終了することが困難な状況の中、2か月以内に改めて総会を開催する旨の報告をもって、当日の総会が終了となった。その後、2か月が過ぎても総会開催の案内はなく、瀬戸市場内部の混乱や諸事情により、総会の開催が困難な状況にあるのではないかと、組合に対する所管行政庁の責務や指導基準の内容について問う。

◎ 新聞報道でも、平戸市に影響を及ぼす洋上風力発電の事業計画、具体的には、大島区から唐津市沖までの計画。このような水域の利用は、本市の基幹産業である漁業活動に対し多大な影響を及ぼすことが予測されることから、本市の漁業者は不安を抱いている。このような事業計画などに対し、再エネ担当部署や水産課をはじめ、市長はどのような対応を行っているのか。

●田平港シーサイドエリア活性化事業について
●洋上風力発電について

竹山 俊郎(市民クラブ)



◎ 今後の商品券事業の在り方として、キャッシュレス決済等て利便性は上がると思うが、検討は出来ないのか。文化観光商工部長 これまででない取り組みとなるので、導入コストや導入後の活用などを検討しながら見極めていきたい。

◎ 7月13日に、ある事業者から嘆願書が市に提出された。それまでは認可行政庁として指定管理先を指導するという認識がなかったのではないかと、文化観光商工部長 認可行政庁としての認識は薄かった部分もあるかと思

◎ 本市のあるべき将来を考えた場合、特に水産業は、この豊かな水産資源を適切に管理し、平戸沿岸の好漁場を後世に守り、伝え、残していくことが重要な使命であると考えている。本市に対しても、この開発の件については反対の声が多く届いていることから、県知事要望の折に、市として反対の立場で要望書を提出している。その際、中村知事より、漁業者の皆様の御意見を重視したいという回答を得ている。